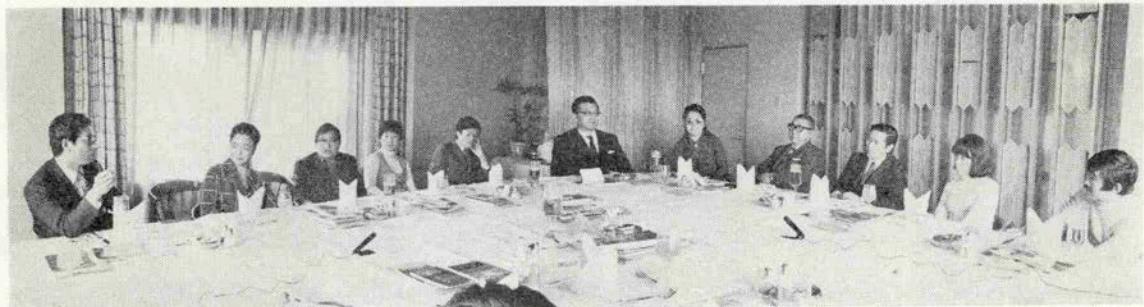


●神戸つ子10周年記念
ミニコミ特集② 全国ミニコミ編集者が語る座談会

タウン雑誌を創る



ゲスト 陳 舜臣 〈作家〉
友田由美子 〈東京・銀座百点〉
国分 綾子 〈京都・きょうと〉

村山 竜朗 〈東京・赤坂青山六本木〉
魚住 総司 〈博多・博多ばってん〉
田中 浩子 〈博多・博多ばってん〉

薩 一夫 〈札幌・月刊さっぽろ〉
兄部 建夫 〈広島・る・もんどう〉
金子 健樹 〈金沢・おあしす〉

★土地の人が
ツー・カーで読める雑誌

陳 タウン誌というのは街で遊ぶとかダウントウンで遊ぶといったような性格のもの、つまり「平凡パンチ」的なものをいう用法もあるんじゃないんでしょうか。

一度徳間書店が「タウン」という雑誌を出しましたが、一号か二号でダメになつたことがありますね。アメリカのタウン誌と提携して横書きにし、工夫はこらしてあるんですが読みにくかった。タウン誌というとあいいう本のイメージが片一方にはあるのかもしれませんね。

私の小説は神戸を舞台にしたものが多いためですが、原稿を書いておりまして、今はそんなことないんですけれどはじめの頃、三の宮へ主人公と女性が行つたというようなことを書きますと東京の雑誌社の編集部から電話がかかってきまして、三の宮とはどんな所か二行ぐらいいれてくれないかという事を

小泉 今月はお忙しい所わざわざご遠方からおいでいただき、本当に有難うございました。文字通り北は北海道から南は九州まで、日本各地のタウン誌の編集者の方々にお集りいただきましたので、いろいろなお話を伺わせていただきたいと思います。



村山 麻巳 氏

いわれるんです。ところが銀座とか新宿、赤坂、六本木というような所だったら注釈ぬきでその固有名詞がつかえます。まあ大阪の道頓堀、心斎橋あたりまでですといいんですが、三の宮ぐらいだともう注釈がいります。三の宮はこういうような繁華街だとかバーがたくさんあるとか、そういうことを書かないといけないんですね。我々は書きたいことを書いていると、いうのは口だけのことであって、物を書く時は常に読者のことと頭において書かないといけない。

そういうことを忘れるとなしの固有名詞がでてくるんです。

ところがタウン雑誌になりますともう注釈もなしで通じちゃう。だから範囲としては狭いけれども自分の仲間だけで物事を注釈なしにいえる、あるいは書けると

いう「心やすさ」があると思います。それからもう一つ、タウン誌はよそから来る人の案内を兼ねているという点で水と油のような感じがするんです。というのはよく神戸を知っている人が「神戸っ子」を読む場合はツー・カーで通じるんですが、これがよそからくる人に神戸を紹介するという役割をも兼ねているのなら、又視点が全然違ってきますのでこれが今後のタウン誌の課題なんじゃないかという気がします。

★北から南まで タウン誌は花ざかり

小泉 それではここでお一人づつそれぞれのタウン誌のご紹介と生いたちなどをお話ししていただきましようか。

「きょう」とを出してあります。私の所は専任の編集員は一人もいないのですが、私は創刊以来ずっとこの雑誌の編集にたずさわっております。「赤坂・青山・六本木」さんとは全く対照的で、京都は大変に古い都市でございます。この雑誌は京都の方が読むというよりもむしろ京都以外の方に読んでいただいて、京都をうんと知っていたらしくいうことが第一番の目的でございました。

会員は京都の中の名流といわれ商店が百五十軒ばかりで「きょうと」を支えてくれています。京

出しています。青山が街らしくなりましたのは東京オリンピック以降なんですね。それまでは青山といふと住宅地で商店は非常に少なかつたんです。最近、青山にもオートクチュールだとかアーティックとかいう店も増えてきました。しかし青山だけではちょっと足りないので赤坂と六本木とを加わえまして「赤坂・青山・六本木」と名づけたわけです。そうしてこの街をひとつファッショントブレイ、つまり六本木は遊ぶ場所も多いし、青山にはアーティックもできはじめましたので、ファッショントブレイタウンというイメージをはじめにおいて街づくりをしようと思い、五年前に創刊号を出しました。

国分 「きょう」とを出してあります。私の所は専任の編集員は一人もいないのですが、私は創刊以来ずっとこの雑誌の編集にたずさわっております。「赤坂・青山・六本木」さんとは全く対照的で、京都は大変に古い都市でございま

都という所は非常に特殊な都でございまして、謙遜のようなおしこんなような性格をもっていますけれども、心の中はじみな日本の古都の誇りを全部もっています。

みんな大変しんのある御主人が多くて、百五十軒のお店の中から十人たらずが編集委員といふ名前で出て下さっています。私が編集担当ということでもかならず十人の編集委員の編集会議を経て、その人たちの意向をくんで私が編集するということになっています。

ちょうど昭和30年だったと思いまが、「きょうと」をつくりました時は銀座百点さん以外はそんなになかつたように思います。本を四角な形にいたしましたのも私のところが一番早いんじゃないかと思います。それからずっとそれを通しておりますし、形もスタイルも

内容もそんなにかわっていませんその代り非常にハイカラになるとが発展するとかいうこともないんです。このように京都の特殊性を背負っている雑誌ということをご理解いただけたらと思います。

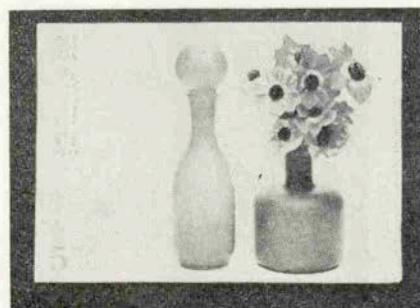
友田 「銀座百点」を出しています。土台になっているのは「銀座百点会」という会なんです。創刊は昭和三十年の一月号で、今年の七月に二百号を出します。百点会は銀座の中の老舗ですが、老舗の方たちがお店の中で横の連絡がないので親睦の意味をかねて何かの会をつくろうということでできたんです。最初百軒集まりましたので「銀座百点」という名前はあるが昭和三十四年ですが、広島といえどもどうしても原爆のイメージがあり、若い人はどうもそれを避けたがるんです。原爆で全部焼けたといつてもまだ古い建物や変わらない美しい風物はあるわけですから、もう一度新しい広島のイ

うことが原則みたいになつてします。「銀座」といえば江戸の面影みたいなものがどうしてもあります。私達もこれから銀座をどうしていくかということが今後の大問題だと思っています。

兄部 私のとこの会社は広告代理店で、「広島の観光」がでましたのが昭和三十四年ですが、広島といえばどうしても原爆のイメージがあり、若い人はどうもそれを避けたがるんです。原爆で全部焼けたといつてもまだ古い建物や変わらない美しい風物はあるわけですから、もう一度新しい広島のイ



友田 由美子さん〈銀座百店〉



メージを打出そうということで発行されました。「る・もんど」はまだ創刊以来一年ほどにしかならないんです。今までスponサーになつてくれるお店がなかつたのですが、お店とお買物に来られるお客様とのルートづくりをしたく東京、大阪中心の流行を追うのをやめて広島自体の流行づくりや魅力づくりをしてみたらどうかと思つてゐるんです。それとお店とお客様との距離をちぢめ、お店の情報を早く、おもしろくこういう雑誌を通してお客様にお知らせしたいということで「る・もんど」が誕生しました。

薩 私の所は「月刊さっぽろ」と「財界さっぽろ」の二つを出しています。「月刊さっぽろ」がつくれたのは昭和三十五年で「銀座百点」さんの真似をされたと思う

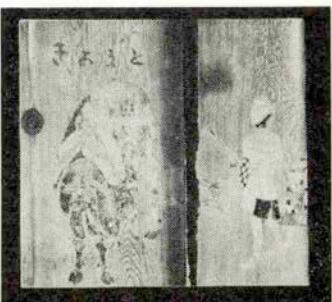
んですが、市会議員に落選した方が失業救済の意味で始められたらしいんです(笑) 責任者も何人か代わられたようで、私が担当しました時は加盟店が三十軒ぐらいだったんですが、私は以前新聞社に長く勤めてましたので一週間ぐらいいの間に加盟店を百ぐらいに増やすことができました。一時は百八十軒ぐらいにもなつたことがあります。新聞記者時代は政治部とか社会部におりましたので、文化面の方はどうも苦手で、「財界さっぽろ」の方に自然力を入れてしまふようになりました(笑) 今スタッフは二十六人いるんですが、「月刊さっぽろ」やってるのはたつた一人なんです。内容はほとんど地元の作家とか随筆家に依頼して書いてもらっています。購読者は札幌を離れて各地方へ行かれた方々

から、札幌がなつかしいので雑誌を送つてくれという注文がよくきます。

金子 金沢の「おあしす」を出してます。皆さんの所とはスタートしたのがちょっと遅いので、五木寛之さんから原稿をいただいてついの間に加盟店を百ぐらいに増やしたことできました。一時は百八十軒ぐらいにもなつたことがあります。新聞記者時代は政治部とか社会部におりましたので、文化面の方はどうも苦手で、「財界さっぽろ」の方に自然力を入れてしまつて古い百万石の城下町といいうイメージが強く、京都とは又別の意味で日本らしさの残つている街として知られています。かねてから何か一つ金沢を紹介できる雑誌がほしいと思っていました。金沢とか北陸は全国的にはまだ余り知られてなくて、金沢は富山県か福井県かごっちゃになつたり、裏日本という地理的なものがハン



国分 綾子さん(きょうと)



デイになつたりしてました。でも

逆に「考える文化」という点では古い歴史をもつていてます。高い文化的な蓄積は以前からありますので、街づくりのうえでも文化的な面でも伝統に関する限り大きな蓄積をもっています。そしてその周囲には能登であるとか白山、立山越前海岸のような風光明媚なところがあり、表日本からはだんだんとなくなつていきつある、自然の美しさだと人情の暖かさなど

が残っています。ただ、北陸人はじみな方なんで、PRなんかは上手でもないし熱心でもなかつたんですね。しかしこれからはしだいに交通・通信も発達しますし、人々の心にも何かしら空虚さがあり精神的な砂漠が広がりつつあるように思ひますので、私達は緑とか水とか味覚とか、そういうものの

価値をもう一度考えなおして、名実ともに日本のあるいは世界の「おもしろ」にしようじゃないか

ということでこの名前をつけ、スタートしたわけです。金沢に住んでる人に自分たちの街をよく知つてもらうことと同時に他から来る人のガイドブックにもしたいので、限られた予算と限られたペー

ジで少しでもそういう目標に近づくよう努力したいと思つていま

す。おかげ様でこれが刺激になつたんじゃないかと思ひますが、北

陸三県でも後輩が同じような雑誌づくりをやってくれています。もつとこういう広がりをつくつていけば素晴らしいですね。

魚住 「博多ばつてん」を出してます。博多店会というのは昭和三十一年に戦前からあつた老舗の二代目の方が親睦の意味でつく

られた会です。拔店会には研究部と事業部と編集部というのがあります、それぞれ独自の動きをし

まして、それぞれ独自の動きをします。この雑誌は博多店会の編集部が「きょうと」と同じくいうことでこの名前をつけ、スタートしたわけです。金沢に住んでる人のガイドブックにもしたいので、限られた予算と限られたペー

ジで少しでもそういう目標に近づくよう努力したいと思つていま

す。おかげ様でこれが刺激になつたんじゃないかと思ひますが、北

陸三県でも後輩が同じような雑誌づくりをやってくれています。もつとこういう広がりをつくつていけば素晴らしいですね。

田中 「博多ばつてん」を出しています。博多店会というのは昭和三十一年に戦前からあつた老舗の二代目の方が親睦の意味でつく

す。おかげ様でこれが刺激になつたんじゃないかと思ひますが、北

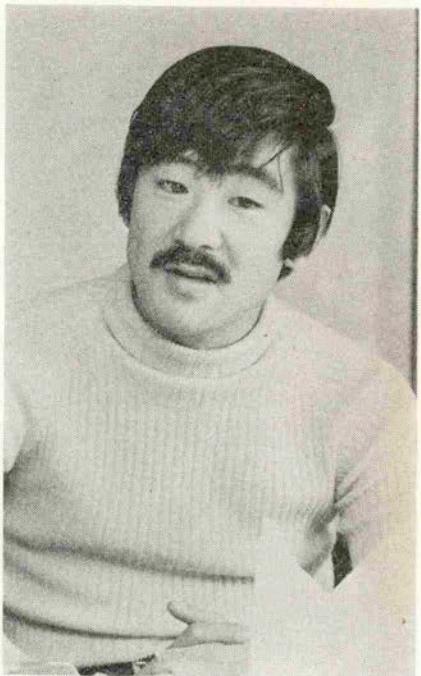
陸三県でも後輩が同じような雑誌づくりをやってくれています。もつとこういう広がりをつくつていけば素晴らしいですね。

田中 「博多ばつてん」を出しています。博多店会というのは昭和三十一年に戦前からあつた老舗の二代目の方が親睦の意味でつく



村山 竜朗氏〈赤坂・青山・六本木〉





魚住 維迪氏〈博多ばってん〉

してつい分苦勞されたそうなんです。今度新しくなって、季刊誌ですが六十号がでたんです。

魚住 これは二代目の方が始められたんですが、実際には今は三代目の方に移ってるんです。そうするとお店の中でも二代目と三代目に断絶ができしまって、総会の時などけんけんごうごうなんです（笑）

兄部 私のとこなんかはその点やりやすいです。

薩 「銀座百点」さんは百店会がパックにあるそうですが、スポンサーにお金を出してもらってとやかくいわれ、編集権を侵害されるのはイヤなんで、私のとこは独立した別の会社をつくったんです。

国分 私は編集権の侵害なんて夢にも考えたことがありません。見識のあるご主人がいい意見を出し

て下さるとそのいいとこだけ生かし、衆智を集めて編集できますの私はあまりそういう矛盾は感じません。

小泉 京都の文化というのはやっぱり素晴らしいですからね。大阪に「浪花のれん」いうのがあります。が、やっぱり裏にいろんな難しいことがあってやりにくくて聞いてます。やはりその街その街の背景がかなりあるようですね。「神戸っ子」が「きょうう」というな感じの本には絶対できないです。

歴史的、文化的、地理的にも全然違いますからね。京都のような千年の古都の雰囲気は神戸にはちょっとありませんから。

国分 でもその雰囲気が逆に、年令の高いおじいさんやおばあさん

の本みたいだというような声もよく聞きますので、若い、少しハイ

陳 ヤング向けの店もありますし層とか、その焦点のみつけ方です。

陳 それから書き手ですが、地方にいる人、つまり各地の同人雑誌なんかの人々に書いてもらうのはど

カラな要素を入れたいと思い何回も話合ったんです。そうしましたら、やはり京都は京都のイメージを大事にするのが私の本の本来じゃないかということに落着いたわけです。ですからまっすぐにそこへいってるんじゃないなくて何度も討論はしてるわけなんです。

魚住 ところで私のとこには読者の年齢的な対象をしほるのにいつももめるんですが、その点いかがでしょう。

陳 ご年配向けの店もありますし

それはむずかしいでしょうね。

國分 もう少し高い年令とか若い





薩 一夫氏 〈月刊さっぽろ〉



田中 浩子さん 〈博多ばってん〉

うですか。

小泉 「博多ばってん」さんは火野葦平さん、「銀座百点」さんは出版社の方、又金沢の場合は五木寛之さん、といったようにその地方のそれぞれの文化人の方々にお世話になつたという例が多いようです。

兄部 広島の場合は文教都市ということでいろんな文化人も多いんですけど、ネームバリューのない方

にでも作家の卵をみつけてどんどん書いてもらうようにと思ってい

ます。

村山 私の所は中央文壇なんですね

が、有名な人はタウン誌にはもの書きませんで、もっと稿料のよい週刊誌や月刊誌からひっぱりだこなもんで、なかなか書き手がないんです（笑）

友田 私、ある作家の方に原稿依頼して一度叱られたことがあるん

です。原稿依頼の時、自筆で手紙を書いて返信用の封筒も入れて送った所、電話がかかってきて「僕はよっぽど稿料がよくないとPR誌になんか書きませんよ」といわれました。一介のタウン誌だということで大変くやしい気がしましたが、PR誌であるっていうハンドイキャップもありますね。

薩 ところが、我々の街になりますといろんな三文文士が原稿をもつてきてもうけて困るんですよ

（笑） ところで経営はみなどうなつてるんでしょうか。

小泉 半分ぐらいはお店が中心になつて発行されますね。たとえば「銀座百点」さん、「きょうと」さん、「博多ばってん」さんなど、金沢さんなんかはやや離れた形じゃないんですね。

金子 そうですね。こういうもの



兄部 建夫氏〈る・もんどう〉



陳 逆に、つぶれていたのも相当あるんじゃないですか。

国分 京都は三号ぐらいでどうしでも育ちませんです。

金子 人口二、三十万以上の都市にはだいたいできてきたんじやないですか。

陳 そうですね。それより小さい都市だと今度は地方新聞との兼ねあいでむずかしい。

魚住 発行部数なんてみなどのぐらいなんでしょうか。

小泉 各社さまざまでしょうがやはり「銀座百点」さんが一番多いです。

陳 逆に、つぶれていたのも相当あるんじゃないですか。

友田 約十万です。各加盟店への定数は一応五百になっていますが、あとは追加という形で支店へ送ります。

薩 タウン誌をつくる場合はみんな「銀座百点」さんには聞きにいきます。

やつていく場合「さあ金だすから好きなものやつて下さい」というようなスponサーはまずないですしこれらとゲチをつけられることもありますね。創刊号は若い人むけに金沢としてはだいぶ思ひきった編集をしたんです。これららの消費人口はだんだんと若い人が多くなりますから若い人に喜こんで読んでもらえ、納得してもらうようなものにしようと思つてます。又、お店とお客様とが対話できる場をここにつくろうと思ひ、顔はむしろお客様の方を向いているんですが、長い将来みていただくとかならずその商店にもプラスになるということを私達は一つのセールスポイントにしています。

魚住 「神戸つ子」さんの場合はどうなんですか。

小泉 私の所は逆に「神戸つ子」が百店会をつくりまして、百店会に参加して下さいともつていった方なんです。

金子 私の所もほんと「神戸つ子」と同じです。

村山 私の所も町に商店が少なかつたのですから、先に雑誌をつくりてから、赤坂・青山・六本木名店会というものを組織したんです。ですから街の組織づくりといふものを最初から念頭においてやつたわけです。

小泉 タウン誌もこの二、三年でずい分増えてきたようですね。

薩 北海道にも七つぐらいあります。

小泉 東京にはずい分あるでしょ。

友田 東京だけで二百五十ぐらいいます。

薩 タウン誌をつくる場合はみんな「銀座百点」さんには聞きにいきます。

くんなないです。お師匠さんみたいもんだから（笑）

★タウン誌の連絡協議会を！

陳 新聞の三社連合のようなものですね。

金子 それからタウン誌は往復効果のある媒体ということがいえますね。読者投稿があつたり、商店

薩 この機会に何かタウン誌の会

をつくつたらいいんじゃないでしょうか。どうでしょう。

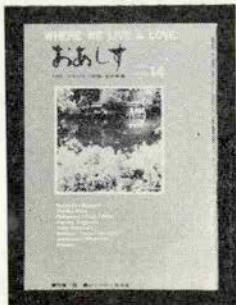
金子 そうですね。みんなで情報や意見を交換しあつてレベルをあげていくようにできればいいですね。外国には再版といって、地方に出したものが一度からず中央

から全国へ紹介される機関がある

金子 ようです。日本の場合、九十何パーセントが東京から出るもので占められてるでしょ。タウン誌の連合のようなものをつくれば全国に多くの読者をもつてีますので、非常に強力な媒体になるんじやないかな。



金子 建樹氏（おあしす）



主が顔を出していたりして街と非常に密接に結びついた情報の交換ができる。放送でいえば有線放送のように、リクエストしてそれが放送されるといったようなねですからタウン誌は使い方によつては非常に強力な媒体になりうる。

陳 こういう各タウン誌を東京のどこかにおいてもらつたら、同人雑誌センターというのはできまし

村山 それと各都市のタウン誌の編集部に全国のタウン誌をおくよ

うにしたらどうでしょ。私のと

この雑誌も神戸に三十人程読者がいますので、私のとこの本をほし

い人は「神戸っ子」さんの編集部までいけばよいというふうに…。

陳 いすれにしてもタウン誌の全国連絡協議会のようなものがあった

村山 連絡協議会のようないいですね。

陳 今までの話を伺つてましてタ

ウン誌の発行もしんどいやろなつていう同情を感じました（笑）タ

ウン誌は、街を知つてゐる人じやない」と寄りつけないような所もあ

戸っ子」を読むとかする方が肌でその街が感じられるんじゃないでしょうか。ですから本屋の一つのコーナーに全国のタウン誌をおいてもらうようにしたらおもしろい。

金子 連絡協議会のようないいですね。

るし、又それを他人にみせようといふ全然別の目的と二つもつてしますからしんどいと思いますよ。余りむずかしい単語をなべないでいかに街の雰囲気を出すかということですね。余り啓蒙的になつてもおもしろくないしね。

★こんなタウン誌を創りたい

小泉 今までのお話でだいたいタウン誌の三つの役割、すなわち、①その街の紹介 ②街の中でのコミュニケーションの場を提供する ③金沢や六本木のように街と密着して街づくりを考えいく、といふこの三つぐらいの役割がでましたが、最後にお一人づつ今後の方針などをお聞かせいただきたいのですが。

村山 私の所は金沢さんのようにそういう雑誌がないから出すといふんじゃなくて、そういう雑誌は別にうちが出さなくともまわりにいっぱいあるわけですから、「どうしても買いたい」、「読みたい」という気を起こさせるような雑誌にしなければいけないんです。そのため常に何か新しいものを追求し、打出すようにしていきたいと考えています。

国分 私の方は雑誌が古い、懐古的だという声がありますので編集委員を二、三人づつ若い方を中心に

代えていただき、若い方の発言を大事にしたいと思っています。それから京都ではコマーシャルなことを露骨に出すの嫌うんですが、私としてはもっと入れていかなければいけないと思うんです。自分がP.R.ですから、みなさんの神経にさわらないような形でいいべきだと思っていています。

友田 銀座もいろいろ変化しつつありますので、その変化に対応して時代にマッチした雑誌づくりをしたいと思います。今のところ七月の二百号を目標にして努力していますが二百一號からはまだどういふうにするかは決っていません。でも今までのパターンはくずしたくないのでそのまま踏襲するつもりです。

元部 東日本の中心が東京なら西日本の中心は広島というふうに、広島も若くなっていますので広島の「若さ」を雑誌に吹きこみたいと思います。まだまだ広島には一からやりなおそうという若さがありますので、一つのパターンにこだわらず「若い息吹」を打出したい。

魚住 「博多ばっこん」の場合、ローカル色をなくすというか、もちろんいい面では残していかないといけないんですが、昔と時代も違いますので、若い人にうけるといふか、喜んで読んでもらえる雑誌にしたいと思います。今までには自己満足的な要素が多くたのでつくった方が喜こぶというよりも読んだ方が喜こぶといったふうにしていきたいのです。

小泉 どうも皆さんお忙しい所いりますので、一つのパターンにこだわらず「若い息吹」を打出したい。

北海道の人にも再認識していただきたい。来年はオリンピックもありますし、北海道の札幌というものがクローズアップされてきていく

ますので、それにふさわしいようなものにしたい。

金子 新しい金沢と古い金沢の一一致点というか、対話の場としたいです。

それとあくまでP.R.誌であるということを忘れないで、それをも

りたててくれているお店をよくするように努力したいです。又地方の若いアーチストにも発言の場を与えて、権威にべったりひつついているんじやなくて、自由さと積極さをめざしてがんばりたいと思います。

北海道の人にも再認識していただきたい。来年はオリンピックもありますし、北海道の札幌というものがクローズアップされてきていく

★ ★ ★

(北野クラブにて)

10周年記念
祝神戸っ子



神戸市長 宮崎辰雄



“神戸っ子”この雑誌が創刊されてはや十年。その名のとおり、神戸が目指す文化都市へのイメージにピッタリの雑誌であろう。創刊当時とは神戸もずいぶん変りました。街は海に山に大きく鼓動しつつ広がっていきく。青年の街・躍動の街・流行の街・いろいろとイメージが浮かんでくる、神戸はどこよりも住みよいわれらの故郷、明日に向かつて生きている街。“神戸っ子”も新しい街の息づかいをどんどん紹介し、明日の神戸とともに歩んでほしい。



ニッケは英国を完全に越えました
最高級紳士服地
マグナル・タッサー
発売元
竹馬産業株式会社



カリーナ カリーナ カリーナ

信頼のマーク

TOYOTA



クラウンでおなじみの
兵庫トヨタ

本社 神戸市長田区北町2丁目5

☎ 神戸(078)576-5051

あらゆる電化製品
のショールームです



神戸
ナショナルショウルーム

神戸市生田区京町78番地
TEL. 078 (39) 8011

神戸っ子が十年を迎えたとは少し驚いた。神戸という土地柄が今迄こんなジャーナリズムを育てたことがなかったのに、今度十年を突破する長生きな雑誌を持てたことは神戸を愛する人間としてまことに喜ばしい。フランスはパリ中心の文化国家のように見えるが、神戸と姉妹都市のマルセイユなどにもちろんとした雑誌や新聞がでている。マルセイユに限らずボルドーにもリヨンにも立派な地方文化がある。神戸もぜひそういう都市なみの文化事業を育ててゆきたいし、それが神戸っ子の任務であろう。



10
周年記念
祝神戸っ子

詩人 竹中 郁



ルネッサンス'71

大丸 神戸店

神戸市生田区明石町40
TEL (078)33-8121



さよならがいえない街
Santica Town
さんちかタウン

神戸地下街株式会社
交通センタービル8F
TEL. 39-4024
★
さんちか名店会
交通センタービル8F
TEL. 39-3965



あすのくらしをひらくそごう
そごう
神戸三ノ宮
神戸店

神戸市葺合区小野柄通8丁目23
TEL 神戸 (078)22-4181

10周年記念

祝神戸っ子



神戸青年会議所
理事長 木下 健



創刊十周年を心よりお祝
い申し上げます。

国際色豊かな貴誌の「神
戸っ子」は、国際港都神戸
の政治・経済・文化、あら
ゆる分野で郷土神戸市の發
展に力を注いでこられまし
た。

私たち、神戸青年会議所
も若い力を結集して、神戸
の繁栄と市民の幸福を求め
て、豊かな住みよい街づく
りに積極的に取り組んでい
ます。

今後とも神戸市の發展の
ために、お互いに努力を重
ねてまいりましょう。

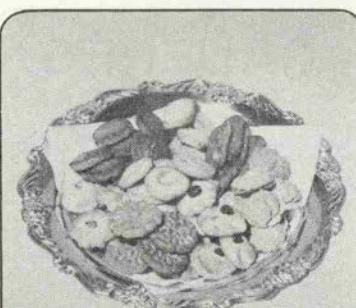


大丸前

つゝや貸衣裳店

神戸市生田区三宮町3丁目18
TEL (33) 0360-7786

出張所 神戸市立勤労会館内 (34) 7975-8
出張所 県民会館内 (32) 2131
西脇店 西脇税務署前 (0752) 214114
そごう店 神戸そごう4階 (22) 4181



クッキー

北欧の銘菓
ユーハイム
コンフェクト



■本社・工場・熊内店

神戸市垂水区熊内町1(市立美術館東隣)
TEL 22-1164・9865

■三宮センター店

神戸三宮センター街(洋菓子・喫茶・レストラン)
TEL 33-2421・4314

■さんちか店

神戸三宮地下街スイーツタウン
TEL 39-3358

MAKE 春風のなかのあなたに…
UP TO ROYAL



めがねの御用命はお気軽に
神戸眼鏡院で御相談ください



神戸眼鏡院

元町3丁目 ☎ 321212代表
さんちかタウン ☎ 391874-5

神戸っ子10周年ほんとに
おめでとう。わが子の成長
のよう嬉しく思います。
創刊当時の三十頁ぐらい
の薄い雑誌から百五十頁近
い雑誌に育くまれたのは大
変健康的な成長です。
また、神戸っ子の他にも私は全
国あちこちのタウン誌を手
にしていますがその中でも
群をぬいています。
神戸っ子を、神戸
を愛する執筆者の寄稿も多
く、それは幸せもの。こと
に小磯良平先生の表紙はな
にものにもかえがたい有難
さ。今後とも皆さまの暖た
かいご支援をお願いしたい
ものです。

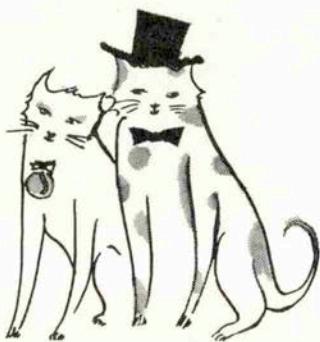
神戸っ子10周年ほんとに
おめでとう。わが子の成長
のよう嬉しく思います。
創刊当時の三十頁ぐらい
の薄い雑誌から百五十頁近
い雑誌に育くまれたのは大
変健康的な成長です。
また、神戸っ子を、神戸
を愛する執筆者の寄稿も多
く、それは幸せもの。こと
に小磯良平先生の表紙はな
にものにもかえがたい有難
さ。今後とも皆さまの暖た
かいご支援をお願いしたい
ものです。



神戸百店会幹事
小林新二

KOBE TAKO SHIRT

春風のなかを神戸シャツで
おしゃれをすれば……



よろず御縫衣縫上処

神戸シャツ

神戸店一神戸大丸前 33-2168
東京店一東急・日本橋店1階 211-0511内線219
東急・渋谷本店 4階 462-3433
広島店一広島・福屋 1階 47-6111 内線333

GAUFRES

贈るよろこび
味覚の愉しみ

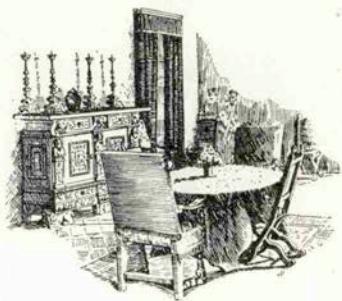


神戸にそだって 70年

風月堂

元町3丁目 TEL 392412~5
さんちかスイーツタウン TEL 393455

家具・室内装飾・工芸品



永田良介商店

神戸市生田区三宮町3丁目大丸前
TEL 神戸(39)3737(代表)

東京店 東急百貨店

日本橋店内1階 TEL 03(211)0511
本店(渋谷)7階 TEL 03(462)3180
工場 神戸市垂水区多聞町小東山975-35
神戸木工センター TEL (078)76-5005代

経済ポケット ジャーナル



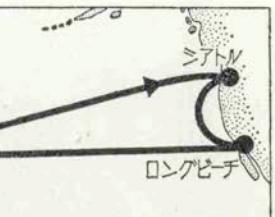
⑥がポートアイランド沖建設予定地

★川崎汽船は東南アジアの香港—基隆—釜山—シートル—ローランギビーチ間に今年十月から二週間間隔でコン

★関西新国際空港予定地は神戸ポートアイランド沖が最適

関西新国際空港の建設地について運輸省は八つの候補地をあげ、騒音、投資効果、気象など幅広い調査を五つのコンサルタントに依頼していたが、一番基礎になる資料が得られると期待していた社会工学研究所が、ドクターポートアイランド沖」を最適と結論、また日本建設機械化協会がまとめた工事施工計画調査でも「神戸ポートアイラン

ド沖」を最適と結論、またドクターポートアイランド沖だとも、ポートアイランド沖だと騒音の及ぶのは海上だけで、人口密集地帯には影響がない、上空での待機中の騒音問題もほとんどないと



川崎汽船が予定しているコンテナ航路

★KOBE オフィスレディ★



岡本かの子 (20)

株式会社 三星堂受付

“神戸で一番の受付係になろう”とその心構えは筑豊という土地で培われた従順さの中に芯の強さがうかがえる。趣味は詩吟初段の腕前、そして時には説法を聞きに行くという。何かを学びとっているにちがいない……目の美しいお嬢さんだ。明石市在住 筑豊高校出身



新鋭高速船「ふえにっくす」

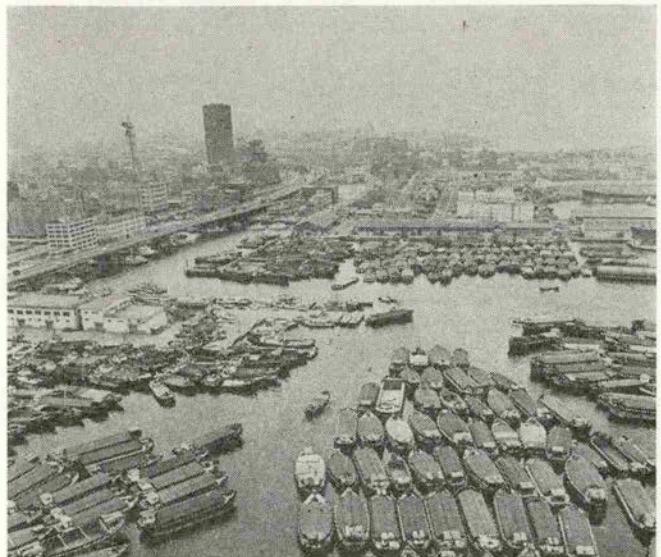
テナ船を就航させる。

これは、ここ数年着実に経済発展し、貿易量でも対米輸出が一九六七年から三年間で約二倍にも伸びている。又騒音について解消でき、最大能力を生かすことができる、としている。又騒音について

間短縮される。邦船がわが国に直接関係しない第三国航路にコンテナ船を投入するのも初めてで、運輸省、海運業界など関係者の注目を集めている。

★新鋭大型自動車航送旅客船「ふえにっくす」竣工

三菱重工はこのほど新鋭高速船「ふえにっくす」(五、九五四総トン)を竣工した。同船は旅客一〇〇名、トラック約40台、乗用車約111台を積載することができます。三月一日より京浜と日向間に就航する予定。



「港」と「都市」をしっかりと
つないだ街づくり——神戸の港湾
計画と都市計画は、海にのぞむ臨
海都市づくりのよきお手本；仲間
— Teacher & Friends です。

高松・広島・博多といった各都市
での、港の機能混乱による都市の
環境破壊の進行はまったく残念な
ことです。工業による海岸線の独
占が進行しています。海から都市
へアプローチしてごらんなさい。
その玄関口は、さんたんたる有様
です。「港」と「都市」の相互理
解が失われた結果でもあります。
その結果、海の広場を通じてのお
互いの都市のコミュニケーション
はとだえてています。

鉄道と航空路の発達は、都市
の視線をすべて、日本列島の中心
(?)——東京に集中させてしま
いました。そのなかにあって、海
の広場はお互いの都市を相互にネ
ットワークする場と可能性をもっ
ています。各々の都市の個性の相
互交流は多次元の価値と評価感を
育てます。「港」はまた、生活サ
ービスの基地でもあるのです。
「港」からの資源に情報加工をく
わえた繊維、雑貨、洋菓子などは、
その生活文化の成果品です。

〈水谷 頴介〉

街づくりの智慧の
コミュニケーションネットワーク

水谷頴介+チーム・UR

④8

画家大石輝一氏宅を訪ねて
神戸のモダーンリビング

48

水谷頼介+チーム・UR

人通りも少い静かな住宅街に、ちょっと日本ばなれした建物が建っています。戦前は平凡な木造屋だったので、画家であるこの家の主人が手づから造り替えていったのだとか。一階は喫茶店と焼物のお店があり、若い人達の集りのためにと集会室まで用意されています。二階は夫妻の寝室とアトリエ、ご夫婦二人きりのすまいとしては広すぎるこの建物も、すみずみまで手を入れられて、工夫されていて、どの部屋にも描かれている天井画や壁画はもちろんご主人の作、壁にノミで描いていった戦争と平和がテーマだという喫茶店の室内画は独特的の雰囲気をつくり出している。ここのお客はほとんど常連さんで、しかも他の人に教えたがらないという、何かさわがしい新しさにふれられたくないような時間の重みがこの建物全体にただよっているような気がする。

時間がたてばそれだけプラスされる価値を生み出せるもの、そういうものがどんどん少くなつてゆく傾向の今日、まさしく画布の枠から抜け出してできた一つの作品といえるこのすまいは人々を包む空間として失いたくないもの一つだといえる。〈高月 昭子〉



全 景

2階アトリエへの外部階段



1階の居間がアトリエ兼用になってしまった

